



令和5年(2023年)8月4日(金)防府市立新田小学校体育館において、JFA小学校体育サポート研修会が「令和5年度防府市小学校教育研究会体育部会 実技研修会」として実施されました。

指導者として、公益財団法人 日本サッカー協会 JFA コーチ 尾形 行亮 様をお招きしサッカーのみならず、体ほぐしの運動から体づくり運動、ゲームやボール運動へとつながる流れで、体育科授業づくりについてご指導いただきました。暑さ厳しい日でしたが、体育主任の先生方から、体育好きの先生方まで、20名あまりの先生方の参加がありました。

まず、参加者一人一人が、新聞紙を丸め、ビニル袋に入れた手作りの「My ボール」を作成しました。次に、ウォーミングアップ(動きづくり)として、気分を盛り上げたり、人間関係づくりをしたり、主運動へのきっかけとなったりするような活動を行いました。参加者も自然と笑顔になり、体も心もほぐれてきました。その後、手作りのボールや柔らかいスポンジのサッカーボールを使い、簡単な動きや遊び(活動1、活動2)、そしてゲームへと発展するような流れで実技を体験しました。

本研修では、参加者全員がいただいた「新・サッカー指導の教科書」の内容を中心に、その考え方や内容を体験しました。基本的な考え方である「構想は逆算 実施は積み上げ」に基づき、45分の構成、1学年の構成、小学校の構成を学ぶことができました。その中で、「どの子も楽しめる」「技能差の克服」「たくさん動く」ことを大切にされ、教材の工夫や場の設定の意味についても説明を受けることで、より理解が進みました。

今回の研修は主に体育主任の先生方が中心に参加されました。サッカーの授業づくりだけでなく、体育科の授業づくり全てに通じる考え方や内容を学ぶことができた貴重な研修会となりました。

(次頁に研修の具体的な様子を紹介する。)



研修会の具体的な様子



ウォーミングアップ（アイスブレイク）

ウォーミングアップは、ボールを使わずに、ゲームをするメンバーのアイスブレイクを兼ねて行った。「じゃんけん」や「手押し相撲」、など、互いの人間関係を培うような運動を取り入れ、緊張感をほぐすような内容が多く含まれていた。



ウォーミングアップ（ほぐしの運動）

ウォーミングアップ（ほぐしの運動）は、MYボールや柔らかいスポンジボールなどを使って、恐怖心を取り除きながら、ボールになれる運動遊びを中心に活動した。運動の苦手な子どももいることを意識した内容が多く取り込まれていた。



集団での運動遊び

ここでは、集団での動きづくりが身に付くような「川渡り」をベースに活動が展開された。その中で、最初に作った新聞紙のボールやソフトサッカーボールなどを使って、ルールや場の工夫などにより、ボール（サッカー）ゲームの基本となる動きづくりやスペースのを見つけ方などが楽しく身に付くような内容になっていた。



ゴール型ゲームの紹介

ここでは、ゴール型の様々なミニゲームを実践した。簡易的な場やルールを工夫することで、技能差や個人差がある程度改善されることや全員がボールに関与できることが保障されることがわかるような内容であった。

ボール運動が苦手な子どもたちにも楽しめるゲームが紹介され、授業に生かしていくことができる内容になっていた。